

第2回山口県大型児童館整備基本構想検討委員会の概要について

- 1 日時 令和8年9月1日（火）9時30分から10時40分まで
- 2 場所 県庁共用第4会議室
- 3 出席者 委員11名、山口県児童センター 松原館長、
こども・子育て応援局長、こども政策課長、こども家庭課長、関係課職員
- 4 議題 大型児童館の機能・役割等について
大型児童館の整備場所について

<主な意見の概要>

議題1 大型児童館の機能・役割等について

（子どもの遊び・体験・交流機能）

○子どもの頃の楽しい体験や記憶は、ふるさとを愛する心の醸成につながり、将来その地域に住み続ける理由の一つにもなると考えられるため、大型児童館にはプラネタリウムや大型屋内遊具など、子どもたちの心を強く惹きつける魅力的な設備を整備することが重要である。

○プラネタリウムは、多くの人が同じ空間で星空等を眺める貴重な体験ができる場所であり、設備として整備することに意義があると考ええる。また、宇宙を知ることが科学等への関心を高めるきっかけにもなる。

○子どもたちから、過ごしやすい時期には外に出て遊びたいという要求も出てくると思われるため、屋外にも子どもが遊んでみたいと思える魅力的な遊具が一つでもあると、大型児童館を訪れる楽しみが増えると考ええる。

○最近の中高生は、乳幼児や年少の子どもと接する機会が少ないため、子どもや子育ての様子を日常的に見られる環境を整備することが重要である。子ども向けと中高生向けの空間を分けるのではなく、緩やかにつながる場にするすることで、将来の子育てや子どもに関わる仕事への動機付けにつながると考える。

○中高生向けのフリースペースは重要である一方で、利用時間帯が限られるため、昼間の空き時間の活用が課題になる。時間帯に応じて用途を切り替えるなど、柔軟に運用できる空間とすることが重要である。

○乳幼児スペースは、子どもが遊べるだけでなく、保護者が気軽に悩み事を相談できる機能があると、親子ともにリフレッシュできる場になると考える。

○施設の中に調理ができる場所を設けることで、離乳食づくり支援やお菓子づくりなどの活動も可能となり、子育て支援や交流の幅がさらに広がると考える。

○公園やインクルーシブな場所の整備は進んでいるが、重度の障害や知的障害のある子どもと家族にとって、落ち着いて過ごせる場所がまだ十分ではないと感じている。大型児童館にそうした子どもや家族が安心して過ごせる場所や個別の利用機会を設けることで、より多様な子どもや家族が利用しやすい場所になると考える。

(総合的・広域的拠点機能)

○中高生が多様な活動や居場所を選べる環境と、それを支えるユースワーカー等の人材の配置が重要である。大型児童館がそのモデルとなり、地域の行政や民間と連携しながら、県内各地に中高生の居場所や支援体制が広がるとよい。

○県内の児童館が大型児童館と連携し、各地の子どもたちが対面に限らずオンラインでも交流できる仕組みを整えることで、県内の子どもたち同士のつながりが深まればよい。

○子育て支援を行う団体の中には、専用の事務局や専任職員を置いておらず、運営体制の整備に課題を抱えているところがある。大型児童館がこうした団体の活動拠点や研修、情報交換の場として活用されるとよい。

○行政だけでなく企業とも連携して体験活動を提供するとともに、寄付等を活用して運営を行う一つのモデルとなるとよい。今後、企業・行政のネットワークづくりについて、計画的に準備を進めていくことが重要である。

○子どもからの意見聴取に当たっては、意見を表明しにくい子どもや障害のある子どもなども含めて幅広い意見を把握し、施設運営等に反映することが重要である。また、意見への対応結果を伝えることで、施設への関心や愛着の向上につながると考える。

議題 2 大型児童館の整備場所について

○現在の山口県児童センターは維新公園内に立地しているということもあり、周辺の自然や施設環境に恵まれている。新たな大型児童館においても、屋内外において魅力的な環境デザインを検討していく必要がある。

○周辺には子どもが遊べる公園は少ないと感じている。また、中高生等も利用しやすい施設とするため、コミュニティバスやレンタサイクルなど、車以外の交通手段の充実についても検討していけるとよい。

9月1日 第2回大型児童館整備基本構想検討委員会 出席委員一覧(50音順)

※委員長

氏 名	所 属 ・ 役 職
大倉 福恵	社会福祉法人山口県社会福祉協議会 事務局次長兼総務企画部部長
岡村 隆弘	社会福祉法人吉敷愛児園 子ども発達支援センター愛 施設長
桂 信一	一般財団法人山口県保育協会 副会長
川崎 徳子	山口大学教育学部 准教授
栗原 紹子	下関市こども未来部 部長
児玉 頼幸	山口県こども食堂・子どもの居場所づくり推進会議 構成員代表
佐藤 真澄	山口学芸大学教育学部 教授
原田 貴司	山口県児童館連絡協議会 副会長
平岡 正夫	山口県青少年育成県民会議 副会長
松橋 美恵子	山口県地域活動連絡協議会 会長
溝口 憲治	山口県PTA連合会 特別顧問